

現行の「都市マス」

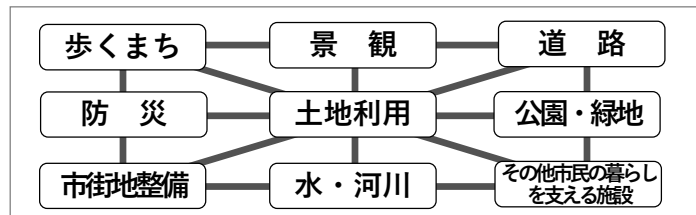
- 市域全体を俯瞰
- 政策分野・都市機能別に都市計画の方針を策定

- 各方面ごとに将来像や方向性を分かりやすく整理し、行政、市民、事業者が共働したまちづくりの推進
- 多様な手法・取組の組み合わせによるアプローチの展開

見直しの方向性

より即地的、総合的に方針を策定

関連施策との連携を強化



産業、商業、子育て、福祉、大学などソフト的な視点

【最近の主な動向（例）】

- 居心地が良く歩きたくなるまちなか（ウォークブル・シティ）



Walkable 歩きたくなる
Eye level まちに開かれた1階
Diversity 多様な人の多様な用途、使い方
Open 開かれた空間が心地よい

○グリーン・インフラ



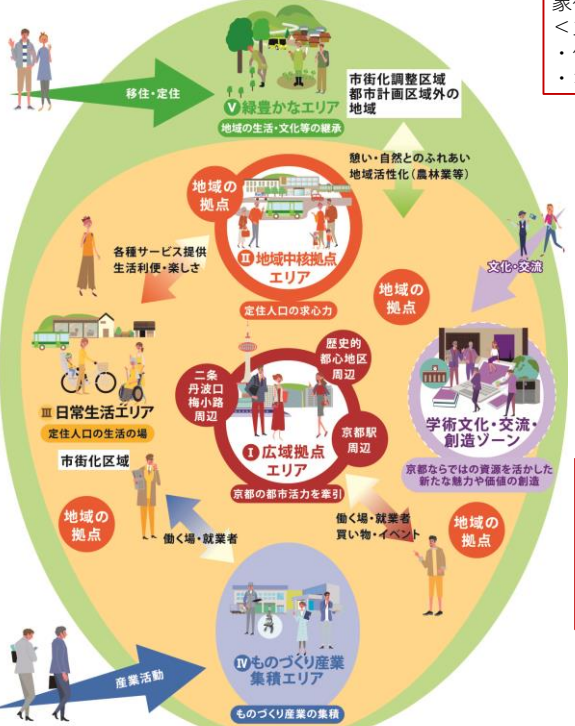
方面別の将来像の明示

現状・課題、市域全体での位置付け、ポテンシャル、地域資源、将来性などを踏まえ、実効性の高い方針を検討

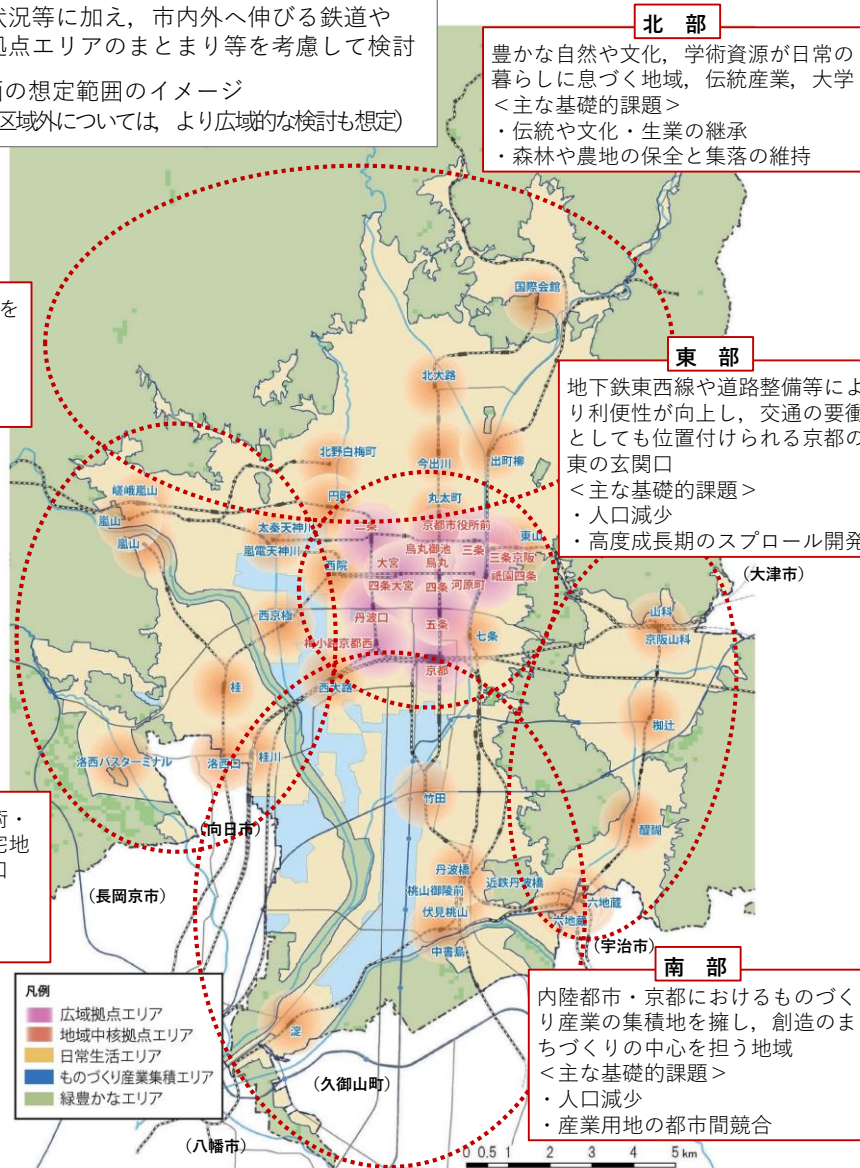
<方面設定の考え方>
 地形や土地利用の状況等に加え、市内外へ伸びる鉄道や道路のつながり、拠点エリアのまとまり等を考慮して検討

○：各方面の想定範囲のイメージ
 (市街化区域外については、より広域的な検討も想定)

【5つのエリアの相互関係】 (持続可能な都市構築プラン)



具体化



北部
 豊かな自然や文化、学術資源が日常の暮らしに息づく地域、伝統産業、大学
 <主な基礎的課題>
 ・伝統や文化・生業の継承
 ・森林や農地の保全と集落の維持

東部
 地下鉄東西線や道路整備等により利便性が向上し、交通の要衝としても位置付けられる京都の東の玄関口
 <主な基礎的課題>
 ・人口減少
 ・高度成長期のスプロール開発

南部
 内陸都市・京都におけるものづくり産業の集積地を擁し、創造のまちづくりの中心を担う地域
 <主な基礎的課題>
 ・人口減少
 ・産業用地の都市間競争

都心部
 京都ならではの魅力と都市格を象徴し、活力を牽引する地域
 <主な基礎的課題>
 ・伝統や文化・生業の継承
 ・オフィス空間の逼迫

西部
 自然と文化に囲まれ、学術・先端産業とゆとりある住宅地が広がる京都の西の玄関口
 <主な基礎的課題>
 ・人口減少
 ・働く場の確保

【各方面と5つのエリアの対応関係】

方面	北部	都心部	西部	南部	東部
概ね該当する行政区	北、上京、左京	中京、下京、東山、南	右京、西京	南、伏見	山科、伏見（醍醐）
持続プラン5つのエリア					
広域拠点エリア	(該当なし)	歴史的都心地区周辺、京都駅周辺、二条・丹波口・梅小路周辺	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)
地域中核拠点エリア	国際会館、北大路、今出川、出町柳、北野白梅町	丸太町、東山、七条、円町、西院、西大路（他の方面との境界に位置）	嵐山、太秦天神川、西京極、桂、桂川、洛西口、洛西バスターミナル	竹田、丹波橋、桃山御陵前、伏見桃山、中書島、淀	山科、柳辻、醍醐、六地藏
日常生活エリア	市街化区域（ものづくり産業集積エリアを除く。）				
ものづくり産業集積エリア	(該当なし)	(該当なし)	西部工業地域（JR線以北）、桂川右岸	らくなん進都、横大路、久世、吉祥院、久我・羽東師	(該当なし)
緑豊かなエリア	市街化調整区域・都市計画区域外				